

～真珠養殖発祥のまち・海女が日本一多いまち～

伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議 会議録

会議の名称	第1回伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議
開催日時	平成27年7月13日(月) 13:30～15:40
開催場所	鳥羽市民文化会館4階大会議室(東側片面)
議題	1. 会議の設置及び役員の選任等について 2. サミットの概要について 3. 事業計画にかかる提案募集について 4. その他
会議資料	【事項書】 【席次表】 【構成員名簿】 【資料1】設置要綱 【資料1関係】実行委員推薦届 【資料2-1】サミット概要とおもてなし会議における取組 【資料2-1添付】北海道地図 【資料2-1別冊】サミットの概要及び県・市町の取り組み 【資料2-2】伊勢志摩地域宿泊施設依頼文 【資料2-3】県民会議事業計画 【資料3】事業計画提案書 【資料4】警備・規制に関する情報交換(非公開)
公開・非公開の別	公開(4.その他は非公開)
出席者(敬称略)	<顧問> 鳥羽市議会議長 浜口 一利(代理) <委員> 鳥羽市自治会連合会長 傍島 寛、鳥羽磯部漁業協同組合代表理事組合長 永富洋一、鳥羽商工会議所会頭 松田 音壽(代理)、鳥羽市観光協会長 吉川 勝也、近畿日本鉄道株式会社鳥羽駅長 高森 正浩、東海旅客鉄道株式会社伊勢市駅長 橋本 正巳、三重交通株式会社伊勢営業所長 中林 広己(代理)、伊勢湾フェリー株式会社取締役社長 福武 章夫(代理)、三重県タクシー協会志摩支部長 上野 文和、市長 木田 久主一、企画財政課長 上村 和弘、農水商工課長 浜口 貢、観光課長 清水 敏也、環境課長 東川 元洋、建設課長、南川 則之、健康福祉課長 寺田 勝治、定期船課長 齋藤 貞之、消防長 細木 正蔵、教育委員会総務課長 下村 悦生 <オブザーバ> 鳥羽海上保安部長 榎本 雄太、鳥羽海事事務所長 木原 盛意、鳥羽警察署長 伊藤 達彦、三重県サミット事業推進課主事 中村 孝之(鳥羽市より出向)
欠席者(敬称略)	<顧問> 三重県議会議員 中村 欣一郎 <委員> 鳥羽市旅館組合連絡協議会長 寺田 順三郎
事務局	[鳥羽市総務課]益田、奥村、田畑、小崎

## 開会・市長あいさつ

### 1. 会議の設置について

事務局より、【資料1】設置要綱について説明。

⇒挙手全員により会議の設置が承認

副会長の選任及び顧問、オブザーバの指名。

⇒副会長（5名）

- ・鳥羽市自治会連合会 傍島寛（そばじまひろし）様
- ・鳥羽磯部漁業協同組合 永富洋一（ながとみよういち）様
- ・鳥羽商工会議所 松田音壽（まつだおとひさ）様
- ・鳥羽市観光協会 吉川勝也（よしかわかつや）様
- ・鳥羽市旅館組合連絡協議会 寺田順三郎（てらだじゅんざぶろう）様

⇒顧問（2名）

- ・三重県議会議員 中村欣一郎様
- ・鳥羽市議会議長 浜口一利様

⇒オブザーバ

- ・鳥羽海上保安部様
- ・中部運輸局三重運輸支局鳥羽海事事務所長 木原 盛意様
- ・鳥羽警察署様
- ・三重県サミット事業推進課主事 中村 孝之

自己紹介。

事務局より、【資料1関係】実行委員推薦届について説明。

### 2. サミットの概要について

事務局より、【資料2-1】サミット概要とおもてなし会議における取組、【資料2-2】伊勢志摩地域宿泊施設依頼文、【資料2-3】県民会議事業計画について説明。

### 3. 事業計画にかかる提案募集について

事務局より、【資料3】事業計画提案書について、委員からの事業提案をいただく旨説明。

### 4. その他

報道退席し意見交換。視察で確認できた道路規制等について【資料4】警備・規制に基づき情報交換。外務省の動き、県警の動き、県の動きを報告。

委員：この会議へ海女さんに出席してもらってはどうか。

事務局：実行委員会で出席してもらおう等検討します。

顧問：組織の中に女性を入れるべきでは。それは景観・お花等おもてなしの視点について女性の考えが重要となってくる。

事務局：各種団体の長の方をお呼びしたところ、結果的に男性ばかりになってしまったのが現状。実行委員会への推薦につきましては、女性の方のご配慮をお願いしたい。

顧問：それぞれの旅館の女将もみえるのでそのような方もどうか。それから、資料2の4番目、景観の所が重要である。伊勢・鳥羽・志摩へ行くルートのパールロードや国道県道の道路にはみ出た木々がたくさん茂っている。市内の道路や歩道にも雑草が多く見られ、サミットが開催される5月は特に多くなる時期。今は路面清掃車といったものもあるので、そういったものを活用するとか、クレーン車等を使って木々を伐採してパールロードから海がもっと見られるようにするとか、道路路面の整備とか、景観・美化が重要だと思う。

委員：先程事務局の方からサミット県民会議の状況もお示しいただきしたが、先日県の廃棄物リサイクル課が来庁され、県・志摩・伊勢・南伊勢・鳥羽と近隣が一体となって環境美化活動に取り組もうという話をされた。

委員：鳥羽市全体で木々が多いと思っており、どこから手を付けていくべきか悩ましいところ。

会長：パールロードから手を付けてもらいたい。折角良い景色が木で見えないところも沢山ある。

委員：おもてなし会議の委員と推薦依頼のあった実行委員会委員は重複することはできるか。

事務局：同一人物でも問題ない。

委員：県の宿泊予約センターについて、大手旅行会社を中心となってコンソーシアムを結成すると思うが、特に離島とか小規模の宿泊施設は大手との取引があまりない所も多く、鳥羽市独自で一元化した窓口を作る必要があると思うので、そのあたりの予算付けをお願いしたい。それと、大変な風評被害があるそうで、洞爺湖のときも出控えが激しかったと聞く。このような対応もこの会議で議論すべきであると思う。また、海女さんは世界レベルの一級の資源だと思う。鳥羽は日本一海女さんが多いまちなので、このサミットを機に情報発信をするチャンスだと思う。

事務局：宿泊については、県が一括して宿泊予約センターを作るということとなっている。

委員：離島の宿泊については特に懸念している。観光基本計画に沿ったアクションプログラムとして現在実施計画を策定中で、今日も課で議論しているが、その中で対応していきたいと思っています。

会長：小規模の宿泊施設の対応が重要。県のセンターはサミット関係者が間違いなく泊まれるということが重点となる。つまり受け入れる側のことを主に考えてやってもらえないと思うので、私たちは受け入れ側のことを大事に考えていく必要がある。宿泊関係者が被害を受けないようにすることは大事なので、実行員会等で十分検討してもらいたい。

事務局：海女につきましては、世界的な資源であるということを全面に押し出して効果的な取り組みを考えていきたい。

委員：海女文化をどう伝えるのか、ということが重要なことだと思います。内容が難解なので、ぜひネイチャーの方に翻訳をしていただきたい。もう一点、モニターツアーやプレスツアーがありますが、近隣市町と連携してしっかりと取り組んでもらいたい。

委員：市民生活について、天候が良ければ各国首脳はヘリコプターで移動すると思うが、悪ければ高速道路を利用すると聞いている。そういった中で、私たちはなるべく早く情報を知りたいと思っている。

事務局：警備についてはなかなか公表するのは難しいと聞いている。

オブザーバ：警備等については実際にどのような状況になるかはまだ分からないというのが現状。先般警察庁長官も現地視察をされていたが、日本国中の警察の総力を挙げて警備を行う、というコメントを出していたので、相当な警備体制になると思う。なるべく場を借りてご説明していきたいと思うが、ご協力の程宜しく願います。

事務局：今後の予定は、7/25が事業案の提出〆切、8月中旬に市議会に予算案を上程、第2回会議8/21、第1回実行委員会を8/26に開催する予定。

オブザーバ：県サミット推進局長から、人の心に響くおもてなしの活動が重要だという話があり、特に観光協会が取り組んでおられるマイホームとば活動は素晴らしい活動だと思っている。県としてもおもてなし研修の実施を観光協会さんとも連携して進めていきたいと考えている。また、伊勢志摩サミットということで、鳥羽というフレーズが出てこないの、なんとか鳥羽を全面に出す施策を打ち出すことを考えていきたいと思っている。

会長：それでは以上をもって第1回伊勢志摩サミット鳥羽おもてなし会議を終了する。どうもありがとうございました。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

